

世界初！

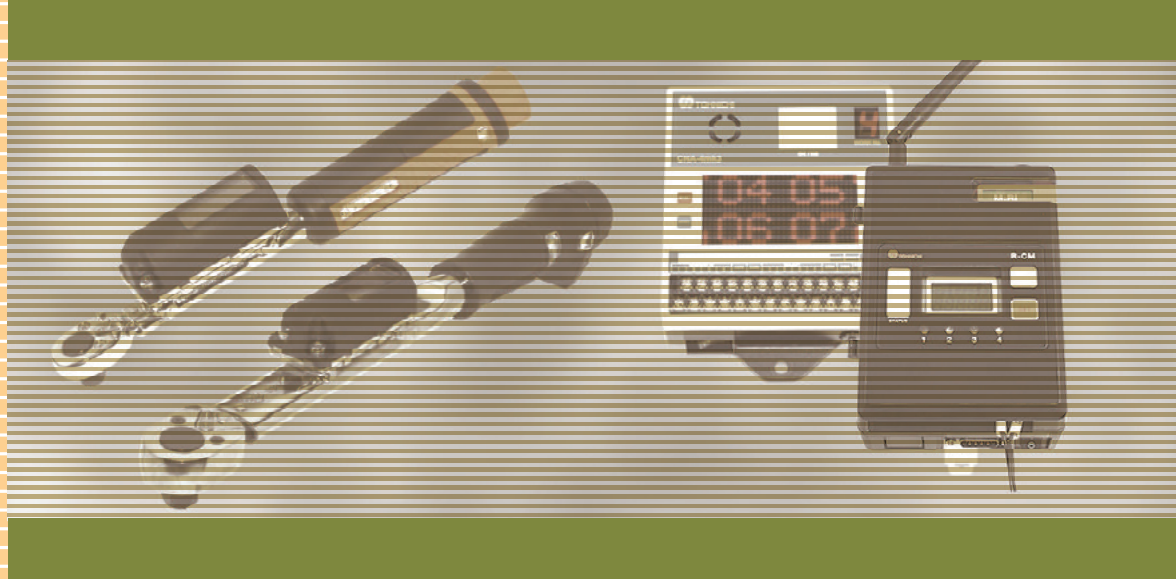
# バッテリーレス無線式トルクレンチ

## T-BL・R-CM+M-BL

PATENTED

送信機

受信機+無線モジュール



- 世界初！※エネルギーハーベスト（ソーラー発電）採用。

※2016年6月20日現在当社調べ ※一次電池は使用せず

- 電池交換不要！交換の手間と運用コストを大幅に削減。
- 実用的な使用可能照度！

ソーラー発電により一般製造工場※の屋内照明以下で締付け完了信号を送信できます。

※一般の製造工場：300～750lx（JIS Z 9110：2010の照度基準総則及び追補1より抜粋）

- BLA（アメリカ等向け）とBLE（EU・中国向け）もあります。

# 東日のトルク機器

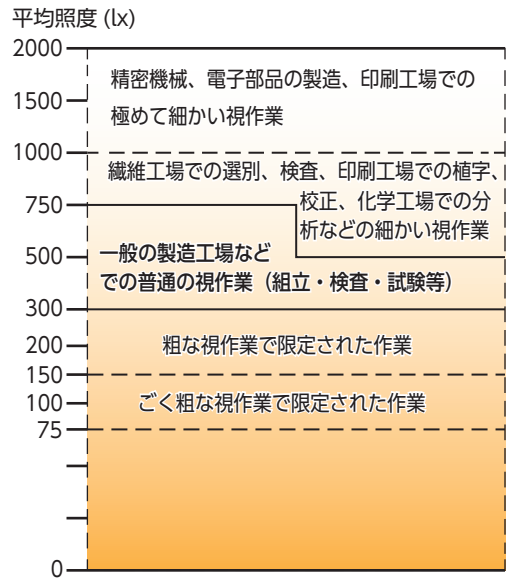
Your Torque Partner  TOHNICHI

# バッテリーレス無線式トルクレンチ T-BL・R-CM+M-BL

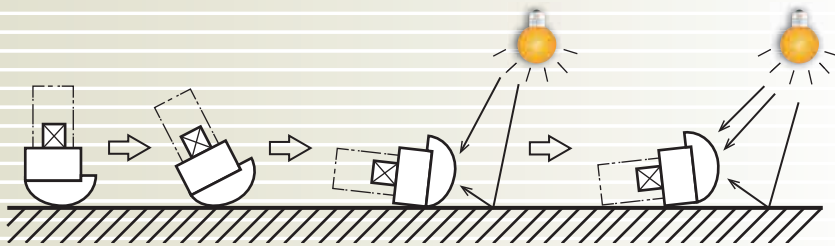
## 特長

- 世界初のトルクレンチ！エネルギーハーベスト（ソーラー発電）により電池不要。
- 電池が要らないので電池交換のコスト削減が可能です。交換等のメンテナンスもなく、環境にも優しいECOトルクレンチです。
- 実用的な使用可能照度（200lx以上）  
JIS Z 9110：2010の照度基準総則及び追補1による一般の製造工場屋内照明（300～750lx）より暗くても使用可能です。
- 今ご使用中の東日製LS式トルクレンチの多くをバッテリーレス無線式ポカヨケトルクレンチにできます。
- カマボコ型の送信ケースの為、採光性に優れています。

### ●照度要件



※JIS Z 9110：2010照度基準総則及び追補1より抜粋



- 東日LS型トルクレンチからの乗せ換えができます。※別途受信機（R-CM）と無線モジュール（M-BL）が必要です。



※T-BLへ乗せ換え可能なLS型トルクレンチ（下記以外の型式については、別途資料「バッテリーレスの無線ポカヨケ発信機（T-BL）を予め搭載したトルクレンチ価格のご案内」をご参照ください）

●QLLS25N5～QL420N ●PQLLS25N～PQLLS420N ●QSPLS25N3～QSPLS420N ●SPLS19N2～SPLS310N2

※QSPCAL5型はT-BL送信機への乗せ換えはできませんが、予め搭載しての納品は可能です。

※MSマイクロスイッチ付きモデルへの「T-BL」型送信機搭載は不可となります。

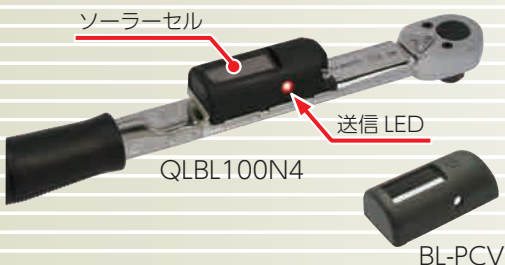
※トルクレンチ本体型式「T-MH」仕様に「T-BL」型送信機を予め搭載しての納品は不可となります。（お客様での乗せ換えは可能です。）

- トルクレンチを作動させるだけで、通信設定ができます。



※R-CM+M-BLは本体を設定モードにしてトルクレンチを作動させます。

- 電池交換は不要です。※二次電池の耐用年数は約10年なので、電池交換は不要です。



- 照度200lxの環境下では稼働時間8時間に4000回以上の締付け作業（送信サイクル7.2秒）が可能です。
- フル充電された状態では、暗所（照度0lx）の環境下でも1800回以上の送信が可能です。
- フル充電後、暗所で保管された場合の放電時間は約6日間です。
- ※3000lx（30Wの蛍光灯下20cm）で約12時間でフル充電状態になります。
- 締付け完了（クリック）時に送信LEDが赤く点灯し、送信チェックが単体で行えます。
- ワークへの傷防止や送信機の衝撃緩和用保護カバー、BL-PCV（別売）もあります。

## 締め付け管理システム構成例



- お客様のご要望に合わせた締め付け管理ソフトウェアも多数納入実績があります。詳しくはお問い合わせください。

## 無線モジュール交換式受信機

- お客様自身で受信機の無線モジュールを交換できます。

R-CM (受信機) の無線モジュールはBL型用、FHM/FH型用、FD/FDD型用の3種類があります。お客様自身で交換可能なため、受信機本体を買い替える必要がなく交換費用が圧縮できます。



- 拡張性が向上。

別売の接点BOX (IO-CM) を接続することで、接点出力を4点から8点、入力を2点から4点に拡張、さらに、別売の大音量ブザー (BZ-CM) を接続することで、75dBから98dBへ音量を大きくし騒音の激しい環境でもブザー音を聞き取りやすく、合わせて大型LED表示により離れた場所からも判定結果を確認しやすくなります。

受信機 (R-CM) 単体でもトルクレンチ 1 本分の締め付け回数管理ができ、別売のCNA-4MK3と接続することで容易にポカケシステムの構築も可能です。



- ※ 1 : 拡張する場合、R-CM本体に付属のDINレール (No.1070) が必要です。(DINレールに取付け後、付属の固定金具で固定してください)
- ※ 2 : R-CM本体をAC電源 (AC100V ~ 240V) で使用する場合には、別売のBA-8Rが必要です。



# 仕様

## 仕様表

型式	送信機	受信機
	T-BL	R-CM + M-BL
周波数	928.35MHz	
変調方式	FSK	
変調速度	125kbps	
ID	固有ID8桁 (変更不可)	
入出力	-	無電圧接点出力4点、RS232C出力 リセット入力、LS入力
電源	ソーラーセル	DC24V (DC18~36V) 消費電力5W以下
アンテナ	ヘリカルアンテナ (内蔵)	ダイポールアンテナ (付属)
使用温度範囲	0~50℃ 85%RH以下 (結露無きこと)	
無線通信距離	約10~20m	

注1: 送受信距離は周囲の電波環境により短くなる場合があります。

※通信エラーの原因として、周囲のノイズや送受信機間の遮へい物が原因による通信エラーの他に、金属やコンクリート等に反射した電波が受信機のアンテナに直接届く電波と干渉してデッドポイントが発生し、通信エラーを起こす場合があります。

注2: 送信機の電源はソーラーセルを使用している為、照度200lx以上の環境でご使用ください。

※一般の製造工場: 300~750lx (JIS Z 9110: 2010照度基準総則及び追補1より抜粋)

※照度200lxの環境下では稼働時間8時間に4,000回以上の締付け作業 (送信サイクル7.2秒) が可能です。

※充電が空状態から最初に送信するまでには照度200lxの場合、約3分かかります。

※フル充電された状態では暗所 (照度0lx) の環境下で1,800回以上の送信が可能です。

※フル充電後、暗所 (照度0lx) で保管された場合の放電時間は約6日間となります。

※ソーラーセルはトルクレンチを使用中にも照度200lx以上の環境下で充電を行いますので、必ずしも使用前にフル充電させる必要はありません。

※充電残量表示がありませんので、必要に応じて工具台に照明を設置する等してご対応ください。

注3: 受信機R-CMをAC100~240Vで使用する場合は、別売りのACアダプタ (BA-8R)が必要です。

注4: 1台のR-CM (受信機) で最大4台まで受信可能。但しトルクレンチの同時発信には対応できません。

注5: 本製品は「電波法」に基づき、日本国内のみ使用可能です。

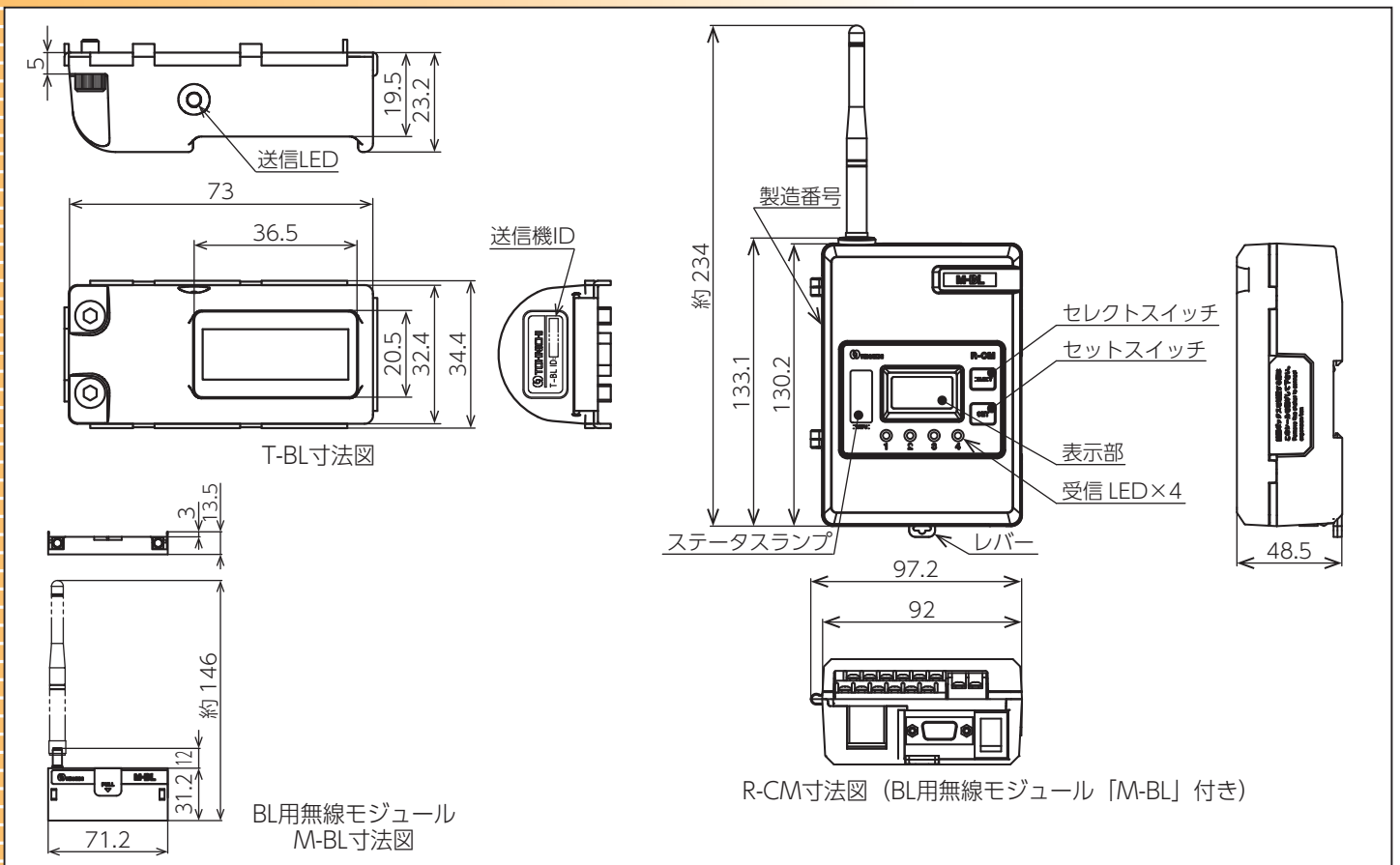
## ご注文の仕方

例: QSP又はSPにBL送信機を搭載した場合の型式

QSPに搭載した場合	SPに搭載した場合
QSPBL25N3	SPBL19N2×10
QSPBL50N3	SPBL38N2×14
QSPBL100N4	SPBL67N2×19
QSPBL140N3	SPBL120N2×22
QSPBL200N4	SPBL160N2×24
QSPBL280N3	SPBL220N2×34
QSPBL420N	SPBL310N2×41

※QSP・SP以外のトルクレンチでもご注文頂けます。  
詳しくは下記フリーコールにてお問い合わせください。

## 寸法図



## 取扱店

●東日製作所製品は改善改良のため予告なく仕様その他を変更する場合があります。  
●不許複製。許可無くWebサイトへの掲載を禁止します。  
●©TOHNICHI Mfg. CO., LTD. All Rights Reserved.



株式会社 東日製作所

トルクの事ならお気軽に、ご相談ください

フリーコール トルク トーニチ

0120-169-121

(フリーコール受付時間: 土・日・祝祭日を除く 8:30~17:15)

URL ▶ <https://www.tohnichi.co.jp>



# バッテリーレスの無線ポカヨケ発信機 (T-BL) を予め搭載したトルクレンチ価格のご案内

T-BLを予め搭載した、バッテリーレス無線ポカヨケトルクレンチの価格(目安)は①+②+③の合計金額となります。

①トルクレンチ単体の価格 ※トルクレンチにより異なります。

②取付費 価格：6,000円

③T-BL 価格：29,700円

※納入価格はお見積りください。

## 【T-BL搭載例】QLBL100N4

「QLBL100N4」はプリセット形トルクレンチQL100N4にT-BLを搭載した型式名。他のトルクレンチの型式名は次ページ「搭載可能機種型式一覧表」をご覧ください。

①QL100N4 価格=20,700円

②取付費 価格=6,000円

③T-BL 価格=29,700円

QLBL100N4の価格=①+②+③=56,400円

※納入価格はお見積りください。

## 【ご注意】

T-BL型送信機搭載可能機種につきましては次ページの「搭載可能機種型式一覧表」をご参照ください。  
(お客様自身で有線のLS式トルクレンチの改造可否も記載しています)

- \* 1 MSマイクロスイッチ付きモデルへの「T-BL」型送信機搭載は不可となります。
- \* 2 動力式製品及LS付きトルクドライバへの「T-BL」型送信機搭載は不可となります。
- \* 3 トルクレンチ本体型式「-MH」仕様に「T-BL」型送信機を予め搭載しての販売は致しません。  
(お客様での乗せ換えは可能です)
- \* 4 FH256MC及びFHM/FH発信機搭載トルクレンチからの載せ替えは不可となります。
- \* 5 特注品の製作可否につきましては、東日製作所迄お問い合わせください。
- \* 6 本表に掲載される型式以外「T-BL」型送信機の搭載は不可となります。(詳細はお問い合わせください)
- \* 7 QSPCAL530N及QSPCAL570Nからの送信機載せ換えは不可となります。  
(予めT-BLを搭載したQSPCABLのご注文は可)

## 「T-BL型送信機」搭載可能機種 型式一覧表&LSからの改造可否表

手動式トルクレンチ（プリセット形）バッテリーレス送信機 搭載型式名	
トルクレンチと送信機を一体で注文する場合の型式	下記型式のQLLS型トルクレンチは載せ換え可能です
QLBL25N5	QLLS25N5
QLBL50N	QLLS50N
QLBL100N4	QLLS100N4
QLBL140N	QLLS140N
QLBL200N4	QLLS200N4
QLBL280N	QLLS280N
QLBL420N	QLLS420N
トルクレンチと送信機を一体で注文する場合の型式	
CLBL25N5×10D	CLLS25N5×10D
CLBL50N×12D	CLLS50N×12D
CLBL50N×15D	CLLS50N×15D
CLBL100N×15D	CLLS100N×15D
CLBL140N×15D	CLLS140N×15D
CLBL200N×19D	CLLS200N×19D
CLBL280N×22D	CLLS280N×22D
CLBL420N×22D	CLLS420N×22D
手動式トルクレンチ（プリロック形）バッテリーレス送信機 搭載型式名	
トルクレンチと送信機を一体で注文する場合の型式	下記型式のPQLLS型トルクレンチは載せ換え可能です
PQLBL25N	PQLLS25N
PQLBL50N	PQLLS50N
PQLBL100N4	PQLLS100N4
PQLBL140N	PQLLS140N
PQLBL200N4	PQLLS200N4
PQLBL280N	PQLLS280N
PQLBL420N	PQLLS420N
トルクレンチと送信機を一体で注文する場合の型式	
PCLBL25N×10D	PCLLS25N×10D
PCLBL50N×12D	PCLLS50N×12D
PCLBL50N×15D	PCLLS50N×15D
PCLBL100N×15D	PCLLS100N×15D
PCLBL140N×15D	PCLLS140N×15D
PCLBL200N×19D	PCLLS200N×19D
手動式トルクレンチ（単能形）バッテリーレス送信機 搭載型式名	
トルクレンチと送信機を一体で注文する場合の型式	下記型式のQSPLS型トルクレンチは載せ換え可能です
QSPBL25N3	QSPLS25N3
QSPBL50N3	QSPLS50N3
QSPBL100N4	QSPLS100N4
QSPBL140N3	QSPLS140N3
QSPBL200N4	QSPLS200N4
QSPBL280N3	QSPLS280N3
QSPBL420N	QSPLS420N
トルクレンチと送信機を一体で注文する場合の型式	
CSPBL25N3×10D	CSPLS25N3×10D
CSPBL50N3×12D	CSPLS50N3×12D
CSPBL50N3×15D	CSPLS50N3×15D
CSPBL100N3×15D	CSPLS100N3×15D
CSPBL140N3×15D	CSPLS140N3×15D
CSPBL200N3×19D	CSPLS200N3×19D
CSPBL280N3×22D	CSPLS280N3×22D
CSPBL420N×22D	CSPLS420N×22D
トルクレンチと送信機を一体で注文する場合の型式	
QRSPBL38N×17	QRSPLS38N×17
QRSPBL38N×19	QRSPLS38N×19
QRSPBL38N×21	QRSPLS38N×21
QRSPBL38N×24	QRSPLS38N×24

トルクレンチと送信機を一体で注文する場合の型式	下記型式のSP2LS型トルクレンチは載せ換え可能です	
SPBL19N2×10	SPLS19N2×10	SPLS19N2×10-MH
SPBL19N2×11	SPLS19N2×11	SPLS19N2×11-MH
SPBL19N2×12	SPLS19N2×12	SPLS19N2×12-MH
SPBL19N2×13	SPLS19N2×13	SPLS19N2×13-MH
SPBL19N2×14	SPLS19N2×14	SPLS19N2×14-MH
SPBL19N2×17	SPLS19N2×17	SPLS19N2×17-MH
SPBL19N2×19	SPLS19N2×19	SPLS19N2×19-MH
SPBL19N2×21	SPLS19N2×21	SPLS19N2×21-MH
SPBL19N2-1×10	SPLS19N2-1×10	SPLS19N2-1×10-MH
SPBL19N2-2×10	SPLS19N2-2×10	SPBL19N2-2×10-MH
SPBL19N2-3×10	SPLS19N2-3×10	SPBL19N2-3×10-MH
SPBL38N2×8	SPLS38N2×8	SPLS38N2×8-MH
SPBL38N2×9	SPLS38N2×9	SPLS38N2×9-MH
SPBL38N2×10	SPLS38N2×10	SPLS38N2×10-MH
SPBL38N2×11	SPLS38N2×11	SPLS38N2×11-MH
SPBL38N2×12	SPLS38N2×12	SPLS38N2×12-MH
SPBL38N2×13	SPLS38N2×13	SPLS38N2×13-MH
SPBL38N2×14	SPLS38N2×14	SPLS38N2×14-MH
SPBL38N2×16	SPLS38N2×16	SPLS38N2×16-MH
SPBL38N2×17	SPLS38N2×17	SPLS38N2×17-MH
SPBL38N2×19	SPLS38N2×19	SPLS38N2×19-MH
SPBL38N2×22	SPLS38N2×22	SPLS38N2×22-MH
SPBL38N2×24	SPLS38N2×24	SPLS38N2×24-MH
SPBL38N2×27	SPLS38N2×27	SPLS38N2×27-MH
SPBL38N2-1×10	SPLS38N2-1×10	SPLS38N2-1×10-MH
SPBL38N2-2×10	SPLS38N2-2×10	SPLS38N2-2×10-MH
SPBL38N2-3×10	SPLS38N2-3×10	SPLS38N2-3×10-MH
SPBL67N2×14	SPLS67N2×14	SPLS67N2×14-MH
SPBL67N2×16	SPLS67N2×16	SPLS67N2×16-MH
SPBL67N2×17	SPLS67N2×17	SPLS67N2×17-MH
SPBL67N2×18	SPLS67N2×18	SPLS67N2×18-MH
SPBL67N2×19	SPLS67N2×19	SPLS67N2×19-MH
SPBL67N2×21	SPLS67N2×21	SPLS67N2×21-MH
SPBL67N2×22	SPLS67N2×22	SPLS67N2×22-MH
SPBL67N2×24	SPLS67N2×24	SPLS67N2×24-MH
SPBL67N2×27	SPLS67N2×27	SPLS67N2×27-MH
SPBL67N2×29	SPLS67N2×29	SPLS67N2×29-MH
SPBL67N2×30	SPLS67N2×30	SPLS67N2×30-MH
SPBL67N2×32	SPLS67N2×32	SPLS67N2×32-MH
SPBL67N2×33.3	SPLS67N2×33.3	SPLS67N2×33.3-MH
SPBL120N2×14	SPLS120N2×14	SPLS120N2×14-MH
SPBL120N2×17	SPLS120N2×17	SPLS120N2×17-MH
SPBL120N2×18	SPLS120N2×18	SPLS120N2×18-MH
SPBL120N2×19	SPLS120N2×19	SPLS120N2×19-MH
SPBL120N2×21	SPLS120N2×21	SPLS120N2×21-MH
SPBL120N2×22	SPLS120N2×22	SPLS120N2×22-MH
SPBL120N2×23	SPLS120N2×23	SPLS120N2×23-MH
SPBL120N2×24	SPLS120N2×24	SPLS120N2×24-MH
SPBL120N2×27	SPLS120N2×27	SPLS120N2×27-MH
SPBL120N2×30	SPLS120N2×30	SPLS120N2×30-MH
SPBL160N2×19	SPLS160N2×19	SPLS160N2×19-MH
SPBL160N2×21	SPLS160N2×21	SPLS160N2×21-MH
SPBL160N2×22	SPLS160N2×22	SPLS160N2×22-MH
SPBL160N2×24	SPLS160N2×24	SPLS160N2×24-MH
SPBL160N2×26	SPLS160N2×26	SPLS160N2×26-MH
SPBL160N2×27	SPLS160N2×27	SPLS160N2×27-MH
SPBL160N2×41	SPLS160N2×41	SPLS160N2×41-MH

トルクレンチと送信機を一体で注文する場合の型式	下記型式のSP2LS型トルクレンチは載せ換え可能です	
SPBL220N2×19	SPLS220N2×19	SPLS220N2×19-MH
SPBL220N2×22	SPLS220N2×22	SPLS220N2×22-MH
SPBL220N2×24	SPLS220N2×24	SPLS220N2×24-MH
SPBL220N2×27	SPLS220N2×27	SPLS220N2×27-MH
SPBL220N2×29	SPLS220N2×29	SPLS220N2×29-MH
SPBL220N2×30	SPLS220N2×30	SPLS220N2×30-MH
SPBL220N2×32	SPLS220N2×32	SPLS220N2×32-MH
SPBL220N2×34	SPLS220N2×34	SPLS220N2×34-MH
SPBL220N2×36	SPLS220N2×36	SPLS220N2×36-MH
SPBL310N2×22	SPLS310N2×22	SPLS310N2×22-MH
SPBL310N2×24	SPLS310N2×24	SPLS310N2×24-MH
SPBL310N2×27	SPLS310N2×27	SPLS310N2×27-MH
SPBL310N2×30	SPLS310N2×30	SPLS310N2×30-MH
SPBL310N2×32	SPLS310N2×32	SPLS310N2×32-MH
SPBL310N2×41	SPLS310N2×41	SPLS310N2×41-MH
SPBL310N2×46	SPLS310N2×46	SPLS310N2×46-MH
トルクレンチと送信機を一体で注文する場合の型式	下記型式のSP2LS-N型トルクレンチは載せ換え可能です	
SPBL19N2-1×10N	SPLS19N2-1×10N	SPLS19N2-1×10N-MH
SPBL19N2-3×10N	SPLS19N2-3×10N	SPLS19N2-3×10N-MH
SPBL19N2-4×10N	SPLS19N2-4×10N	SPLS19N2-4×10N-MH
SPBL19N2-5×10N	SPLS19N2-5×10N	SPLS19N2-5×10N-MH
SPBL19N2-8×10N	SPLS19N2-8×10N	SPLS19N2-8×10N-MH
SPBL19N2-9×10N	SPLS19N2-9×10N	SPLS19N2-9×10N-MH
SPBL38N2×14N	SPLS38N2×14N	SPLS38N2×14N-MH
トルクレンチと送信機を一体で注文する場合の型式	下記型式のRSP2LS型トルクレンチは載せ換え可能です	
RSPBL19N2×8	RSPLS19N2×8	RSPLS19N2×8-MH
RSPBL19N2×10	RSPLS19N2×10	RSPLS19N2×10-MH
RSPBL19N2×13	RSPLS19N2×13	RSPLS19N2×13-MH
RSPBL38N2×10	RSPLS38N2×10	RSPLS38N2×10-MH
RSPBL38N2×12	RSPLS38N2×12	RSPLS38N2×12-MH
RSPBL38N2×13	RSPLS38N2×13	RSPLS38N2×13-MH
RSPBL38N2×14	RSPLS38N2×14	RSPLS38N2×14-MH
RSPBL38N2×16	RSPLS38N2×16	RSPLS38N2×16-MH
RSPBL38N2×17	RSPLS38N2×17	RSPLS38N2×17-MH
RSPBL67N2×14	RSPLS67N2×14	RSPLS67N2×14-MH
RSPBL67N2×16	RSPLS67N2×16	RSPLS67N2×16-MH
RSPBL67N2×17	RSPLS67N2×17	RSPLS67N2×17-MH
RSPBL67N2×18	RSPLS67N2×18	RSPLS67N2×18-MH
RSPBL67N2×19	RSPLS67N2×19	RSPLS67N2×19-MH
RSPBL120N2×17	RSPLS120N2×17	RSPLS120N2×17-MH
RSPBL120N2×18	RSPLS120N2×18	RSPLS120N2×18-MH
RSPBL120N2×19	RSPLS120N2×19	RSPLS120N2×19-MH
RSPBL120N2×21	RSPLS120N2×21	RSPLS120N2×21-MH
RSPBL120N2×22	RSPLS120N2×22	RSPLS120N2×22-MH
RSPBL160N2×19	RSPLS160N2×19	RSPLS160N2×19-MH
RSPBL160N2×21	RSPLS160N2×21	RSPLS160N2×21-MH
RSPBL160N2×22	RSPLS160N2×22	RSPLS160N2×22-MH
RSPBL160N2×24	RSPLS160N2×24	RSPLS160N2×24-MH
RSPBL220N2×22	RSPLS220N2×22	RSPLS220N2×22-MH
RSPBL220N2×24	RSPLS220N2×24	RSPLS220N2×24-MH
RSPBL220N2×27	RSPLS220N2×27	RSPLS220N2×27-MH
RSPBL310N2×24	RSPLS310N2×24	RSPLS310N2×24-MH
RSPBL310N2×27	RSPLS310N2×27	RSPLS310N2×27-MH
RSPBL310N2×30	RSPLS310N2×30	RSPLS310N2×30-MH
トルクレンチと送信機を一体で注文する場合の型式	QSPCAL S型トルクレンチへの載せ換えは不可です	
QSPCABL30N		
QSPCABL70N		



無線式ホースクリッププライヤレンチ

# HCPWFHM230

Your Torque Partner  
**TOHNICHI**



簡単に歯の交換が可能



HCPWFHM230

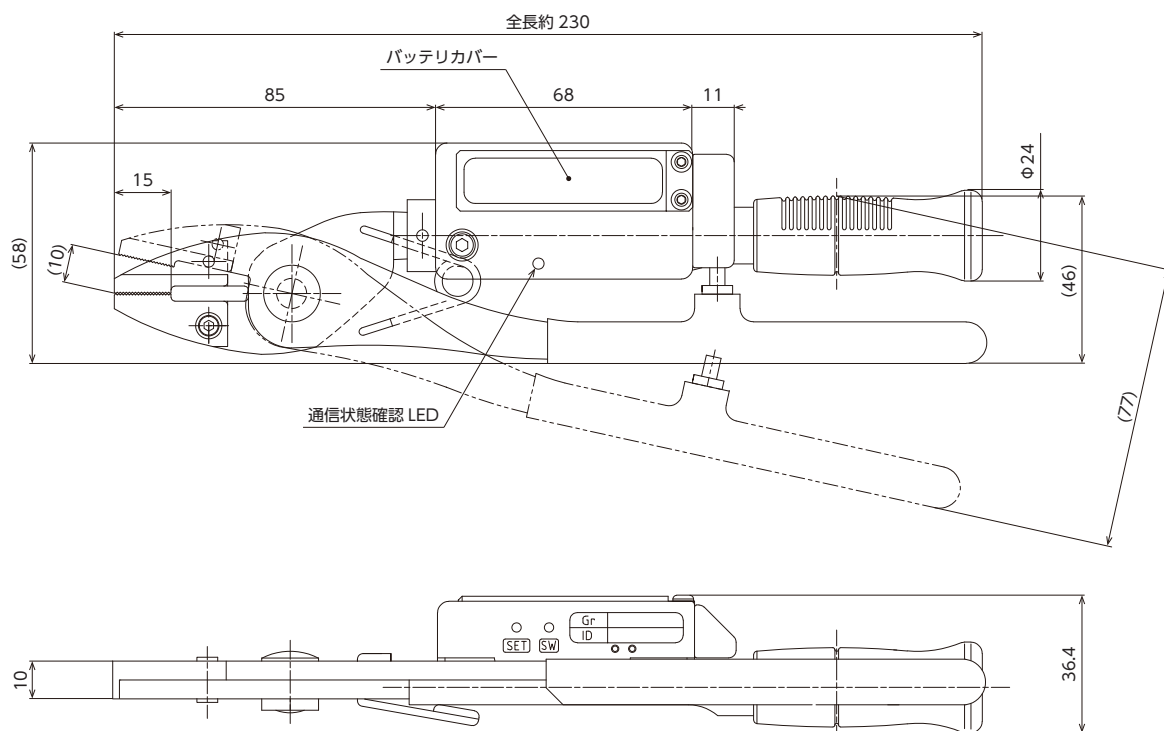
## ◆ 用途

ホースクリップの着脱作業を無線信号を使用してポカヨケできます。

## ◆ 特長

- ・ホルダを掴まずにグリップを握っても作動しません。
- ・レンチの作動を無線信号で発信するので、個数管理・取付け忘れが防止できます。
- ・FHM/FH、BL、FHP の送信機での製作が可能です。
- ・PC や PLC 等と受信機 (R-CM) を接続し、取付け履歴の管理もできます。
- ・プライヤの刃先は容易に交換可能です。

## ◆ 寸法図 (FHM 送信機を搭載した例)



## ◆ システム構成例



HCPWFHM230



受信機  
R-CM + M-FH



PC 等



HCPWBL230



受信機  
R-CM + M-BL



ランプ等

## ◆ 送信機・受信機仕様

型 式	送 信 機			受 信 機	
	T-FHM / T-FH	T-FHP	T-BL	R-CM + M-FH	R-CM + M-BL
周波数	2.4GHz 帯		928.35MHz	2.4GHz 帯	928.35MHz
変調方式	GFSK		FSK	GFSK	FSK
変調速度	250kbps / 1Mbps		125kbps	250kbps / 1Mbps	125kbps
グループチャンネル	256 ( 000 ~ 255 )			256 ( 000 ~ 255 )	
ID	3桁 ( 000 ~ 999 ) 7桁 ( 英数字 )		固有 ID8 桁 ( 変更不可 )	3桁 ( 000 ~ 999 ) 7桁 ( 英数字 )	固有 ID8 桁 ( 変更不可 )
入出力				無電圧接点出力 4 点 RS232C 入出力 リセット・LS IN 入力	無電圧接点出力 4 点 RS232C 出力 リセット・LS IN 入力
電源	DC1.5V ( 単 4 アルカリ )	DC3V ( CR2032 )	ソーラーセル	DC24V ( 18V ~ 36V ) 消費電力 : 5W 以下	
アンテナ	チップアンテナ ( 内蔵 )	パターンアンテナ ( 内蔵 )	ヘリカルアンテナ ( 内蔵 )	ダイポールアンテナ ( 付属 )	
使用温度範囲	0 ~ 50℃ 85%RH 以下 ( 結露無きこと )				
無線通信距離	T-FHM : 約 20 ~ 30m T-FHP / T-BL : 約 10 ~ 20m				

注 1 : 無線通信距離は電波環境により短くなる場合があります。

注 2 : T-BL の電源はソーラーセルを使用しているため、照度 200lx 以上の環境でご使用ください。

注 3 : R-CM を AC100 ~ 240V で使用する場合は、別売りの AC アダプタ ( BA-8R ) が必要です。

※詳しくはお問い合わせください。



株式会社 東日製作所

トルクの事ならお気軽に、ご相談ください

フリーコール トルク トーニチ



0120-169-121

(フリーコール受付時間 : 土・日・祝祭日を除く 8:30~17:15)

URL ▶ <https://www.tohnichi.co.jp>

●東日製作所製品は改善改良のため予告なく仕様その他を変更する場合があります。

●不許複製。許可無く Web サイトへの掲載を禁止します。

●©TOHNICHI Mfg. CO., LTD. All Rights Reserved.